

# 森林減少抑止・山地流域強靱化事業

【令和5年度予算概算決定額 77（77）百万円】

## <対策のポイント>

森林分野における気候変動の緩和と適応に向けた取組として、森林と農業を取り巻くサプライチェーンにおける森林減少・劣化を排除するための体系的なアプローチを浸透させることで世界の森林減少の抑止に貢献するとともに、地域強靱化のための総合的で持続可能な森林の保全・利活用方策の普及を支援します。

## <事業目標>

- 森林減少・劣化を抑止する一体的なアプローチをまとめたガイドラインの作成及びその普及
- 森林・林業分野の知見・技術を活用した、山地流域における地域の強靱化方策の普及

## <事業の内容>

## <事業イメージ>

### 1. アフリカ地域森林減少抑止支援事業 57（-）百万円

- 既存の森林減少抑止施策の効果・効率性を検証するため、世界全体（アジア・アフリカ・南米）を対象とした各種政策の調査・分析及び分析手法の開発を行います。
- 森林減少が顕著なアフリカ地域を対象に、地域レベルにおける森林減少抑止に効果的な政策や活動を特定するとともに、森林減少・劣化を抑止する一体的なアプローチをまとめたガイドライン作成に向けた支援を行います。
- ガイドラインによる政策提言などを通じて国・地域レベルの開発計画等へ反映させ、森林と調和したサプライチェーンの構築を支援します。

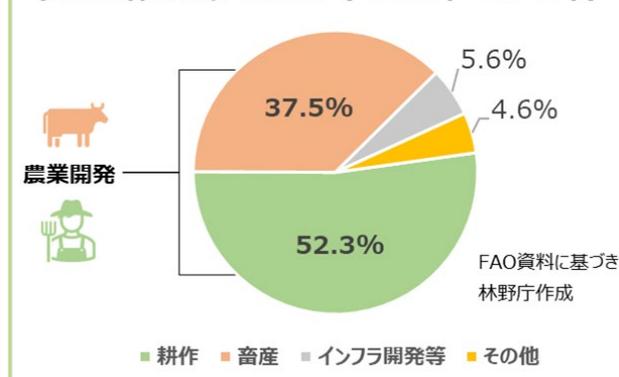
### 【現状】

- 世界の森林は年間1,100万ヘクタール減少。とりわけアフリカは減少速度が加速。
- 森林減少の主要因は農業開発
- 森林減少抑止に向けた国際的な議論の高まり（COP26、FACT対話等）

### 【課題】

- 施策の費用対効果に関する分析が不足
- 農業や土地利用部局等との連携が不十分
- 生産国と消費国の認識の違い

世界の森林減少の要因（2000年-2018年）



### 2. 国際的山地流域強靱化事業 20（77）百万円

- 森林を活用した防災・減災の取組の国際的な主流化を目的とし、事業成果の取りまとめ、研修を通じた能力開発のほか、各種国際イベントでの情報発信を行います。

### 【目指す成果】

- 森林減少の抑止に効果的な政策・活動を定量的に評価・分析し、報告書として発表することで、各国における政策立案を後押しします。
- 森林減少が特に顕著なアフリカ地域を対象に、現地での政策立案や技術支援を分野横断的に行い、サプライチェーンにおける森林減少・劣化を排除するための体系的なアプローチを浸透させます。

## <事業の流れ>

拠出金

国

日本（100%）

国際連合食糧農業機関  
（FAO）

世界の森林減少抑止に貢献

【お問い合わせ先】（1）輸出・国際局新興地域グループ（03-3502-5913）  
（2）林野庁計画課（03-3591-8449）